

令和5年度

研究紀要

教員研修概要

研究授業

授業体験

授業アンケート集計

秋田県立西目高等学校

令和5年度 研修計画

全体研修テーマ

「生徒が自ら学び自ら考える力を育成する」

授業改善重点事項

「生徒の自己発信力を高める指導の工夫」

教員研修

- 4月19日 **不祥事防止のための研修会**
聖園学園短期大学 白山雅彦 教授
- 5月17日 **救急救命講習会**
教員と運動部のマネージャーないし控え選手の参加
- 5月 **授業体験「生徒と共に 授業に参加」**
～12月
- 7月 **進路指導講習**
工業科職員による、地元企業への就職状況の説明
- 9月25日 **不祥事防止のための研修会(2)**
- 10月18日 **授業研修会（商業、国語、英語）**

教員の不祥事防止のための研修

講師： 聖園学園短期大学 白山 雅彦 先生

概要

1 「コンプライアンス」=「法令遵守」 公務員の基本

法律だけでなく、公務員としてふさわしくない行為もある

教育公務員として、法令等の知識を学ぶことに加え

一市民として、また全体の奉仕者である公務員としての誇りと自覚を持ち、

日々の言動が正しいかどうか判断できる倫理観が必要です

- ①法令遵守 ②社内規範の遵守 ③社会規範の遵守

これまでの不祥事防止研修への教員の受け止め方

繰り返してうんざり 心ない一部の教員のこと

しっかりしよう 自分からは遠いこと

実際には、不祥事はひとりひとりの教師にとって縁遠いものではない(数字データ)

これまでの不祥事の分類と 新たな分類の比較

これまでの分類

飲酒、交通事故、体罰 など 事案ごと

行為別の分類 で

酒を飲まない自分ごとではない

生徒から慕われる自分には起こりえない

など自分のこととして捉えにくい

新たな視点による分類

学習不足型 (知らなかった型)

自己中心型 (これぐらいなら型)

確信犯型 (わかってやっている)

合理化型 (その場しのぎ型)

破れかぶれか型 (パニック型)

衝動型 (短絡型)

原因別に分類する

不祥事を引き起こす原因や傾向に踏み込み

「自分にも思い当たる節がある」ことに気づかせる

2 自らの仕事に対する誇りが不祥事を防ぐ

教員は生徒の未来に希望を持たせる責任を担っている

自分の仕事に対する使命感や誇りを忘れず、周囲の信頼を絶対に裏切らない

- 3 不祥事を自分事として捉える「当事者意識」を持つ
使命感や誇りが、最後の一线で自分の不適切な行為を止める
勇気を出して他職員の不適切行為も止められる
- 4 不祥事を起こすのは倫理観が欠如しているから、と片付けず、
その行動をとるに至った背景や要因を分析すれば防止のヒントが見えてくるかも
不祥事を起こした人の行動や発言を知り、自分を振り返れば、
「自分も当事者になるかも」という意識をたかめることができます
- 5 自分の欲求と正当化するため、見ていることや感じていることを
都合よく歪めていませんか。「認知の歪み」は誰もが持っています
- 6 依存症という病気は、本人に病気という自覚がないの特徴です。
早めに周囲がサポート、助言することが重要です
- 7 「性善説」「性悪説」ではない「性弱説」という考え方
所詮人間は弱い存在です
不祥事から守るため全職員でルールや研修を大切にしましょう

学校という特別な職場環境

- 8 どんなにすばらしい先生も、生徒から見ると強い力を持った存在です
無自覚に誤った指導をしないように気をつけなければなりません
「自分には権力がある」と常に教員自身が自覚しなければいけない
権力を悪用して不祥事をおこしてはなりません
- 9 教育的指導と不適切な行為の境界は必ずしも明確ではありません
学校では子供の喫煙や暴力など触法行為を通報しません
体罰等を放置することは 治外法権的な場と思われ
暴力の肯定という誤ったメッセージを子供に送ることになります
- 10 不祥事は必ず発覚します 懲戒処分
忘れてならないのは、信じていた大人(教員)から裏切られた
子ども達の心への影響です
子ども達の教育に携わる教員にとって、不祥事は他人事ではないのです

令和5年4月26日

研修部

令和5年度 職員研修②「救急救命講習会」実施要項

- 1 日 時 令和5年5月17日（水）15：40～16：40
- 2 目 的 心肺蘇生やAEDの使用法を改めて確認し、不測の事態に備える。
- 3 場 所 第2体育館
- 4 対 象 職員及び運動部生徒（各部1，2名程度）
- 5 講 師 由利本荘市西目消防隊員
- 6 内 容 救命入門（実技講習：心肺蘇生法、AEDの使用法）
- 7 担 当 進行…研修部
- 8 留意事項 ・マスクの着用、消毒液による手指の消毒をお願いいたします。
・後片付けへのご協力をお願いいたします。

商業科（ビジネス・マネジメント）学習指導案

日 時 令和5年10月18日（水）6校時
場 所 総合実践室
教 科 書 ビジネス・マネジメント（実教出版）
対 象 ビジネス会計系列 2年生 13名

1 単元名 4章 ビジネスの変革 1. ビジネスの拡大

2 単元目標 企業が長期的な成長をするためには、ビジネスの創造と展開が必要であることを理解する。

3 生徒観 学力の差はあるものの、真面目に学習に取り組むことができる。J P X起業体験プログラムへの参加をきっかけに、様々な場面で積極的に発言する生徒が多くなった。

4 指導計画と評価

(1) 指導計画	1 ビジネスの拡大	2時間	(本時1/2)
	2 多角化の動機	1時間	
	3 多角化企業のマネジメント	2時間	
	4 事業の転換	2時間	
	5 単元のまとめ	1時間	

(2) 単元の評価規準

知識・技術【A】	思考・判断・表現【B】	主体的に学習に取り組む態度【C】
ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解している。	ビジネスの創造と展開に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの創造と展開に関する計画を立案して実施し、評価・改善をおこなっている。	ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

5 本時の計画

(1) ねらい

成長の方針を「市場浸透」「新商品開発」「新市場開拓」「多角化」の4つに分類し、それぞれの方針を理解させ、具体的な施策について考察させる。

(2) 授業展開

時間	学習内容・学習活動 等	指導上の留意点	評価の観点
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業体験プログラムの振り返りを行う。 ・ 企業が長期的に成長するために何が必要か考える。 ・ 本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社設立時と株主総会で使ったスライドを提示する。 ・ 株主総会后解散した自分たちの会社が、次期以降も経営を続けると仮定した時、どのように成長させていきたいか、数名に意見を述べさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業体験プログラムの活動と第4章の関連性を考え、興味 ・ 関心を持って授業に参加している。(ウ)
展開 (30分)	<p>本時の目標： ビジネスの拡大に関する基本的な方針を理解し、具体的な施策を考えることができる。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「成長マトリックス」の考え方を確認する。 ・ 「市場浸透」「新商品開発」「新市場開拓」「多角化」の概略を確認する。 ・ 「市場浸透」の具体的方策を考える。 ・ 「新商品開発」の具体的方策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書を読ませ、その後要点を解説した後、「成長マトリックス」の図をノートに記入するよう促す。 ・ 教科書を読ませ、4つ方針を説明している部分を確認させる。 ・ グループになり、Chromebookで具体的事例を検索させ、方策について意見交換する場面を設定する。 ・ 授業参加者全員が各グループで考えた方策を考察するため、代表者に発表させる場面を設定する。 ・ 発表した事例が乏しい場合は、様々な企業が行っている事例を補足する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的方策が企業の成長にどのような影響を及ぼすか、判断できる。(イ)
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の要点を整理する。 ・ 次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークブックに解答させ、学習内容を振り返るよう促す。 ・ 次時は「新市場開拓」「多角化」について具体的な施策等を学習することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習内容を理解し、ワークブックに解答することができる。(ア)

観点別評価

(ア)知識・技術 (イ)思考・判断・表現(ウ)主体的に学習に取り組む態度

R5 授業研修

授業のユニバーサルデザイン化
(学習課題や学習の流れの明示、
板書の工夫等) とICT機器の活用

根拠を基に説明させたり、
因果関係を明らかにしながら
説明させたりする場面

その他

書画カメラと教科書を用い、両輪で展開していた。 渡会

書画カメラでマーカ一部を提示
佐藤

クロームブックを用い視覚的に理解させようとしていた。 渡会

実例を検索させて、その後発表
佐藤

導入部分で、新商品開発のことを引き出していたので、その後の成長マトリクスの説明が分かりやすかったです。 濱田

総合学科らしい、系列間連携した授業の展開を試してみたいと感じた。宮腰

授業内容のきっかけに自分達の作成した報告書からスタートしたのは良かった。 今野

書画カメラも用いて、教科書に線を引かせている。繰り返し指示しなくてもいい。 小園

なるべく多くの生徒に発言の機会を与えていて、生徒が話す内容が練られていた。宮腰

情報収集の重要性を改めて感じた。様々な物への関心がないとビジネスに繋がらないと思った。農業もビジネスの学習が必要だと感じた。今藤

初めて商業の授業を見たが、非常に興味深く楽しく参加できました。 佐藤

農業とビジネスの生徒がもっと連携を図り展開していければいいと感じました。 工藤

ICT機器を用いていた学習を展開
佐々木

書画カメラを板書的に活用していて、パワポと絡めた活用がとても勉強になりました。宮腰

「なぜ冷やし中華？」という説明させる問いかけ 木元

成長マトリクスの説明の中で、中国との政治的関連を説明した「ホタテ」の話は、納得して頷いていた生徒がいたのが印象的だった。(因果関係)宮腰

日常的な会話など世の中動きを考えさせるのは大切だなと改めて感じました。 工藤

国語 科「言語文化」 学習指導案

日 時 令和5年10月18日(水) 6校時
場 所 1年2組
対 象 生徒 1年2組

1. 単元名 ビブリオバトルに挑戦しよう ～本を知り、人を知る
2. 単元目標 (1)読書の意義や効用についての理解を深める。
(2)発表や質疑応答を通して、ものの見方や考え方を深めたり広げたりすることができる。
(3)読書に親しみ、言葉を通して他者に関わろうとする態度を養う。

3. 生徒の実態

真面目な生徒が多く、個々で行う作業課題には集中して取り組むが、発言や話し合いには消極的な傾向が見られる。これは、学年で朝読書に取り組んでいて小・中学校での読書習慣を維持しているものの、読書量が多いとは言えない状況だったり、言語文化の目標でもある「他者との関わりの中で伝え合う力」を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりする習慣が乏しいからであると考えられる。そのため、「伝え合う力」の補強を図る目的で、今回は「ビブリオバトル」を組み込み、本を紹介する活動を通してものの見方・考え方を深めたり広げたりする力をつけさせたいと考えている。「ビブリオバトル」は、発表や質疑応答などの活動を通して読みを深めることのできる方法であり、生徒たちにとって前述した力だけでなく、読書力を伸ばすのにも適していると思われる。

4. 指導の評価と計画

(1) 指導計画 (全3時間)

- 1時間目:ビブリオバトルがどのようなものかを理解する。本を選び、話の組み立てを考える。
2時間目:クラス予選。班ごとに発表と質疑応答を行い、班チャンプ本を決める。
3時間目:本時。クラス決勝。班代表者による発表と質疑応答。クラスのチャンプ本を決める。

(2) 評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
我が国の言語文化への理解につながる読書の意義や効用について、理解を深めることができる。 【(3)カ】	本の紹介や質疑応答を通して、ものの見方や考え方を深めたり広げたりできる。 【読むことオ】	ビブリオバトルに積極的に関わり、ものの見方や考え方を深めようとしている。

5. 本時の計画

(1)ねらい 本の紹介や質疑応答を通して、ものの見方・考え方を深めたり広げたりする力をつけさせ、言葉を通して他者に関わろうとする態度を養う。

(2)展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 (3分)	ビブリオバトルの目的やルール、活動の流れを確認する。		
展開 (40分)	①前時に選ばれた班代表者(バトラー)が、5分間、公式ルールに則り「自分が面白いと思った本」の魅力を語る。 ②続いて、2分間の質疑応答を行う。 ①②を5回繰り返す。	短い時間の中で、質疑応答が活発に行われるように促す。	本の紹介や質疑応答を通して、ものの見方や考え方を深めたり広げたりできる。 (思考力・判断力・表現力等)
まとめ (7分)	会場の参加者全員で、「一番読みたくなった本」に投票する。 ビブリオバトルのルールを守って投票してもらおう。(グループクラスルームを使用) 「チャンプ本」発表後、2人～3人の生徒に、ビブリオバトル参加の感想を発表してもらおう。	「チャンプ本」発表の際には、大切なのは順位より本や人への理解が深まることだということを伝える。	単元全体を通して、ビブリオバトルに積極的に関わり、ものの見方や考え方を深めたり広げたりすることに粘り強く取り組んでいる。 (主体的に学習に取り組む態度)

R5 授業研修

授業のユニバーサルデザイン化
(学習課題や学習の流れの明示、
板書の工夫等) とICT機器の活用

根拠を基に説明させたり、
因果関係を明らかにしながら
説明させたりする場面

その他

ルール
の説明
タイ
マーの
準備

支援

5分2分の
設定はとて
も良かった。
発表の
パターン
化

発表

ICTの
活用

感想や投票を
フォームで入力
すると集計が早
くていいです。

フォームの
活用で即時
確認ができ
た

話の内容に上手な「つ
かみ」があったり、き
ちんと「落ち」がつい
ていたりしてよいで
す。女子もそんな感じ
で話せたんでしょか？

ビブリオバトル
という企画自体
がこの欄に当
てはまる要素な
んじゃないで
しょうか。

もう1時間
準備の時間
があっても
よいかと。

発表者も聴く側
も生き生きして
楽しそうでし
た！

順番
は？

感想を
チャットす
るのもいい
かも

感想の共有
は次時にで
も早いうち
に。

感想をみんな
で共有してみる
時間があれば
いいですね。

教師の
フィード
バックがす
こしあれば

みんな原稿無
しでよどみなく
話ができいて
凄いです。

生徒が自主
的に話して
いた。

クロムブックを
使わない時は閉
じるか机にしま
う。

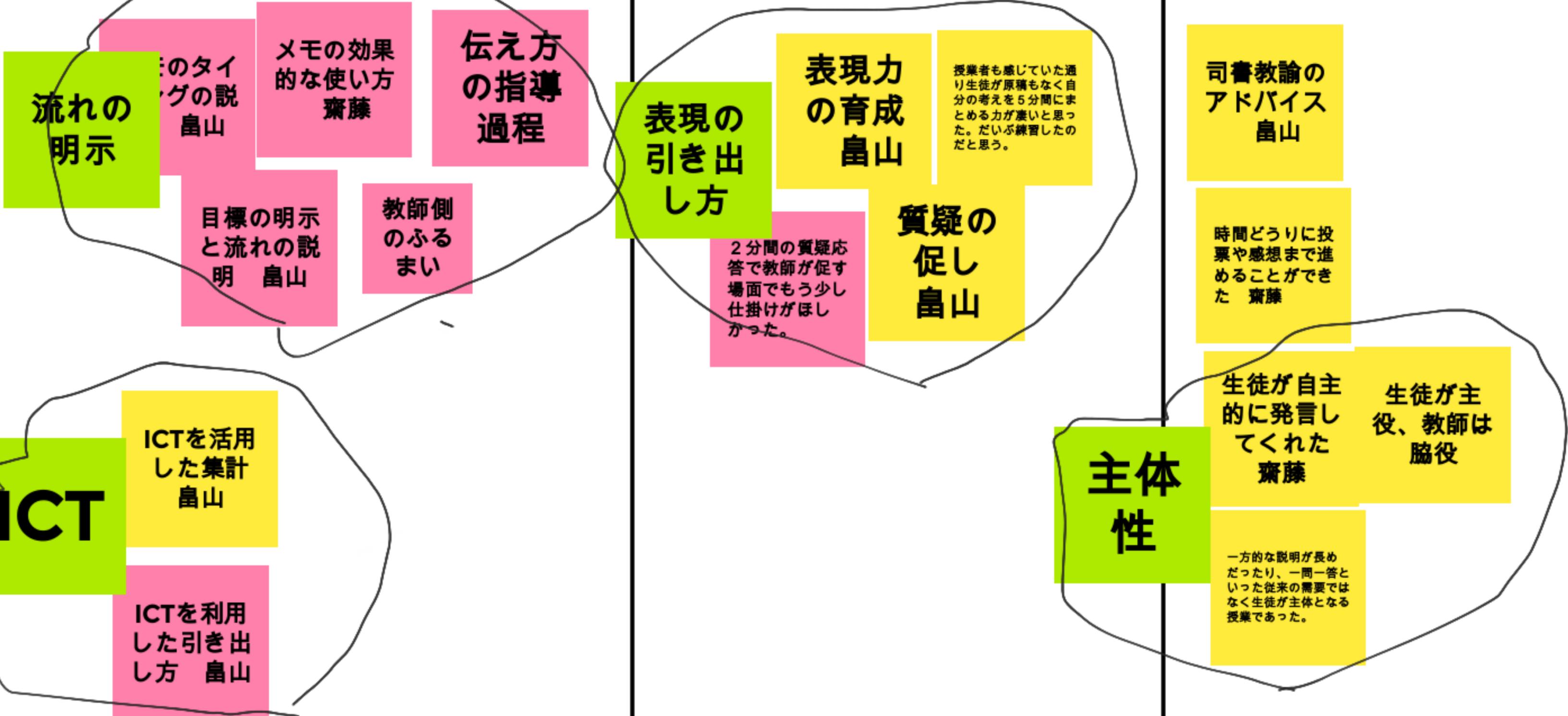
女子生徒が班代
表になる仕掛け
があればよかつ
た。

R5 授業研修

授業のユニバーサルデザイン化
(学習課題や学習の流れの明示、
板書の工夫等)とICT機器の活用

根拠を基に説明させたり、
因果関係を明らかにしながら
説明させたりする場面

その他



英語科「英語コミュニケーションⅡ」学習指導案

実施日時 令和5年10月18日(水) 6校時
場 所 2年2組教室
対 象 2年文理系列(21名)
教科書 Power On English Communication II
(東京書籍)

1 単元名 Lesson4 Vending Machines

2 単元の目標

- (1) 自動販売機の進化について関心をもち、様々な機能を理解することができる。
- (2) 関係代名詞の主格・目的格や非制限用法について理解を深め、活用することができる。
- (3) 西目高校生に必要な自動販売機をわかりやすく説明することができる。

3 単元と CAN-DO 形式での学習到達目標との関連

興味・関心のある話題について、事前の準備における支援を活用しながら、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。【話すこと(発表)】

4 単元観

高校生がよく利用する自動販売機を扱った単元である。日本の自動販売機の特徴や進化、珍しいものを取り扱っている海外の自動販売機について紹介している。自動販売機そのものが生徒にとって身近な存在であり、特定の自動販売機が SNS で話題になることもある。

本単元では生徒の興味・関心を引き出すとともに、論理性に注意しながら自動販売機に関連付けた表現活動を行い、生徒のパフォーマンス能力を高めていきたい。

5 生徒観

文理系列21名のクラスである。主に進学を目指している生徒が多い系列であり、日々前向きに学習に臨んでいる。英語を苦手科目だと認識している生徒も一定数いるが、発音や表現活動などには懸命に取り組んでいる。

中学校で習得する文法や単語などの知識の定着が不十分な生徒もいる一方、英検2級を取得している生徒もおり、英語能力の個人差が大きい。その中でも、互いに励まし合い、教え合いながら英語学習と向き合う様子が見られるので、クラス全体の英語力の底上げを図っていきたい。

6 単元計画(総時間12時間)

- 1時間目 Introduction
- 2時間目 Part 1 についての内容理解
- 3時間目 Part 1 についての復習・表現活動
- 4時間目 Part 1 の文法理解
- 5時間目 Part 2 についての内容理解
- 6時間目 Part 2 についての復習・表現活動【本時】
- 7時間目 Part 2 の文法理解

8 時間目 Part 3 についての内容理解

9 時間目 Part 3 についての復習・表現活動

10 時間目 Part 3 の文法理解

11 時間目 全体の内容のまとめ

12 時間目 全体の語彙・文法のまとめ

7 単元の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">考えを述べるために必要な語彙や表現を理解している。西目高校に必要とされる自動販売機について、自分の考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	日本と海外の自動販売機について、聞いたり読んだりした情報をもとに、自動販売機についての自分の考えを理由とともに話して伝えている。	日本と海外の自動販売機について、聞いたり読んだりした情報をもとに、自動販売機についての自分の考えを理由とともに話して伝えようとしている。

8 本時の学習

(1) ねらい

西目高校生に必要な自動販売機を理由とともに発表させることをとおして、論理性を意識した自己表現能力を育成する。

(2) 指導計画

過程	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none">前時までの学習内容を復習する。西目高校の自動販売機の特徴を確認する。	<ul style="list-style-type: none">電子黒板を活用し、画像を提示しながら考えるヒントを与える。	A
展開 (30分)	<p>Today's Goal : 西目高校生に必要な自動販売機をわかりやすく発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none">必要な自動販売機について、自分の考えをまとめる。発表の練習を行う。5人グループになり、それぞれが発表を行う。各グループの代表生徒が全体の前で発表を行う。	<ul style="list-style-type: none">書き方の例を示し、理由を1つか2つ書くように指示する。それぞれが自分の考えを表現できるよう、必要に応じて支援を行う。聞き手にとってどんな発表が理解しやすいか確認する。グループ内で評価を行う。発表内容に質問がある場合は質問してもよいと伝える。	B
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none">自己評価と本時の振り返りをする。次の授業の予告を行う。	<ul style="list-style-type: none">目標達成状況について、各自に振り返らせる。	C

R5 授業研修

各グループの代表者の発表時の画像をキャストしたらより良かった 嵯峨

授業のユニバーサルデザイン化 (学習課題や学習の流れの明示、 板書の工夫等) とICT機器の活用

根拠を基に説明させたり、 因果関係を明らかにしながら 説明させたりする場面

その他

最後の発表場面では、生徒の他己評価を活かして発表者を決めると、みんなの後押しオシもあって自信をもって発表できるかなとおもったりしました。

良い点

板書が単色で見やすい。進藤

最初に授業の流れを明示
tomoki

黒板と電子黒板の使い分け
亀

例文があってやりやすい。進藤

発表しやすい環境(英語、日本語どちらもOK)
tomoki

生徒が自力で英作文に取り組めていたのは日頃の指導が現れた結果だと思う。
陸斗

授業の雰囲気づくり
安

(質問)ペアやグループの作り方は何か考えがあった?堀内

活発な話し合い!進藤

発表時の良い例、悪い例の提示とその理由がわかりやすかった。美和子

look up
渡辺

授業の途中で目標を全員に書かせているのがよかった。亀

T/F Q and A を Reviewとして設けていた。前回までの内容を思い出しやすい。美和子

見本の掲示
渡辺

英作文作成の前に論理性のない例を挙げたのが生徒の助けになった 嵯峨

「西目高校の」自販機というテーマの絞り方は生徒の興味関心が大きくふさわしいものだった。説明もしやすかったと思う。陸斗

練習時間(リハーサル)の配慮
tomoki

英語を楽しむゆうご君に感動!
tomoki

電子黒板を使うと視覚から様々なことが得られるのでいいなと思った。音楽室にもあればいいな~と思いました。小山

授業の途中で目標を全員に書かせているのがよかった。亀

T/F Q and A を Reviewとして設けていた。前回までの内容を思い出しやすい。美和子

見本の掲示
渡辺

英作文作成の前に論理性のない例を挙げたのが生徒の助けになった 嵯峨

「西目高校の」自販機というテーマの絞り方は生徒の興味関心が大きくふさわしいものだった。説明もしやすかったと思う。陸斗

練習時間(リハーサル)の配慮
tomoki

英語を楽しむゆうご君に感動!
tomoki

改善点

見本から黒板
渡辺

テンポの良さ(短く明確な指示、英語→日本語)
亀

例文がとてもありがたいと思いました。小山

最後に先生が二人の発表を「とてもよかった」とまとめていたが、生徒に質問してもよかったのでは?堀内

これはバツ、これはマルだよという例を挙げることは、求める力を引き出したり、確認したりすることにつながると思う。また、全員発表でき、発表しやすい適切なグループ活動であった。

机の上に辞書やユメタンなど物が多い。堀内

根拠の有無は生徒に確認してもよかったのでは?堀内

学校生活で必要なものをすぐ選択でき、英語で表現できていた。ユメタンの成果もあった。美和子

教師が効果的な画面の使い方をしていた。また、生徒も翻訳の機能を使って効果的に機器を活用していた。

「好きにきなさい」
渡辺

発表するときに発表者の写真を電子黒板に映るようにするのいいと思いました。小山

発表に対して質問やコメントが

代表者の選定。時間配分
tomoki

例文「a macines」はミスではないか。
陸斗

グループの指示難しい?進藤

第1学年保健体育科(科目 保健) 学習指導案

日 時: 令和5年10月5日(木)
場 所: 秋田県立西目高等学校

1 単 元 名 現代社会と健康 (オ) 精神疾患の予防と回復 ㊦精神疾患の特徴

2 単元と生徒

(1) 単元観

我が国の健康水準は、科学技術の発展や社会経済の発展に伴って向上してきており、現在、平均寿命・健康寿命において世界最高水準を達成している状態にある。しかし、社会の急激な変化によって国民の疾病構造等は変化し、心の健康が大きな課題となってきた。また、身体的にも精神的にも多様な変化を伴う青年期を生きる高校生にとっては、精神的なストレスを抱えやすい時期であることから、本単元は自身の体験と重ねて考えることのできる単元であると考えられる。

(2) 生徒観

メリハリをつけて授業を受けることができるクラスである。しかし、発問されれば回答をしようとする姿勢はあるが、積極的な発言はあまりない。自身の意見を文章で表現することはできるので、それを基に他者との意見交換を積極的に行わせられるように工夫をしていきたい。

(3) 指導観

単元を通し、グループワークやペアワークを効果的に活用し、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基づいて、現代社会における健康課題を理解するとともに、その解決に向けて思考・判断・表現できる力を育みたい。

3 単元の目標

- (1) 精神疾患の特徴や精神疾患への対処について理解できるようにする。 (知識)
- (2) 精神疾患の予防と回復について、課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できるようにする。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けることができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等)

4 単元計画 精神疾患の予防と回復(3時間)

主な学習内容	第1時	第2時	第3時
		㊦精神疾患の特徴	
	○精神疾患は、精神機能の障害などが原因となり、精神活動が不全になった状態であることを理解し身近な疾病であることに気付く。 ○精神疾患について、特徴を理解し、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができるようにする。	○思春期に発症が多い精神疾患について、特徴的な症状並びに早期発見と治療等の適切な対処により回復し生活の質の向上が可能なことを理解できるようにする。	○精神疾患の予防と回復には、人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療を受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことを理解できるようにする。

5 本時の計画

(1)本時のねらい 「精神疾患について理解し、予防や回復における課題を発見する」

(2)本時における具体の評価規準

知識(A)	思考力、判断力、表現力等(B)	主体的に学習に取り組む態度(C)
	○精神疾患について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。	

(3)展開

	生徒の学習活動	指導上の留意点と手立て	評価と方法
導入 10分	1 自分の心の状態をグラフ化し、グラフを見て、その当時の状況を振り返る。 2 既習内容の確認をする。 ・中学校で学んだ内容について振り返る。	・導入として、教師自身のグラフを提示する。 ・振り返る期間は、生徒が書きやすいように「1ヶ月」または「2週間」で選択させる。様々な出来事で気分が上がったり下がったりすることを確認させる。 ・心の様相を知られたくない生徒への配慮のために、グラフの作成については個人内の活動とする。	
展開 35分	3 脳の働きについて学ぶ。 ・大脳辺縁系の働きについて 4 動画を視聴し、ワークシートに取り組む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 目標 「精神疾患について理解し、予防や回復における課題を発見する」 </div> 5 精神疾患の特徴について学ぶ。 ・精神疾患の定義について整理する。 6 精神疾患の要因について学ぶ ・自分の考えをまとめる。 【個人】ワークシート ・グループ内で他者の意見に触れる。 ・全体で共有する。	・動画のポイントがわかるように、ワークシートの穴埋めをさせる。 ・生徒の興味・関心を高めるために、疾病Xとして病名を伏せ、精神疾患の特徴を提示する ・生徒の思考が停滞している場合は「どんなときに気分が落ち込むか」「ストレスの原因は？」等と言葉を掛ける。 ・グループ全員が発言できるように司会者を決め、グループ内で考えを共有させる。	
まとめ 5分	7 本時のまとめをする。【個人】 ・ワークシートに取り組む	・生徒それぞれに「精神疾患の予防と回復のために、なぜ学ぶのか、どんなことを学ぶ必要があるか」を考えさせる。 ・精神疾患のイメージがわからない生徒が考えをまとめられるように、精神疾患の特徴を電子黒板に映し出す。	(B)ワークシート

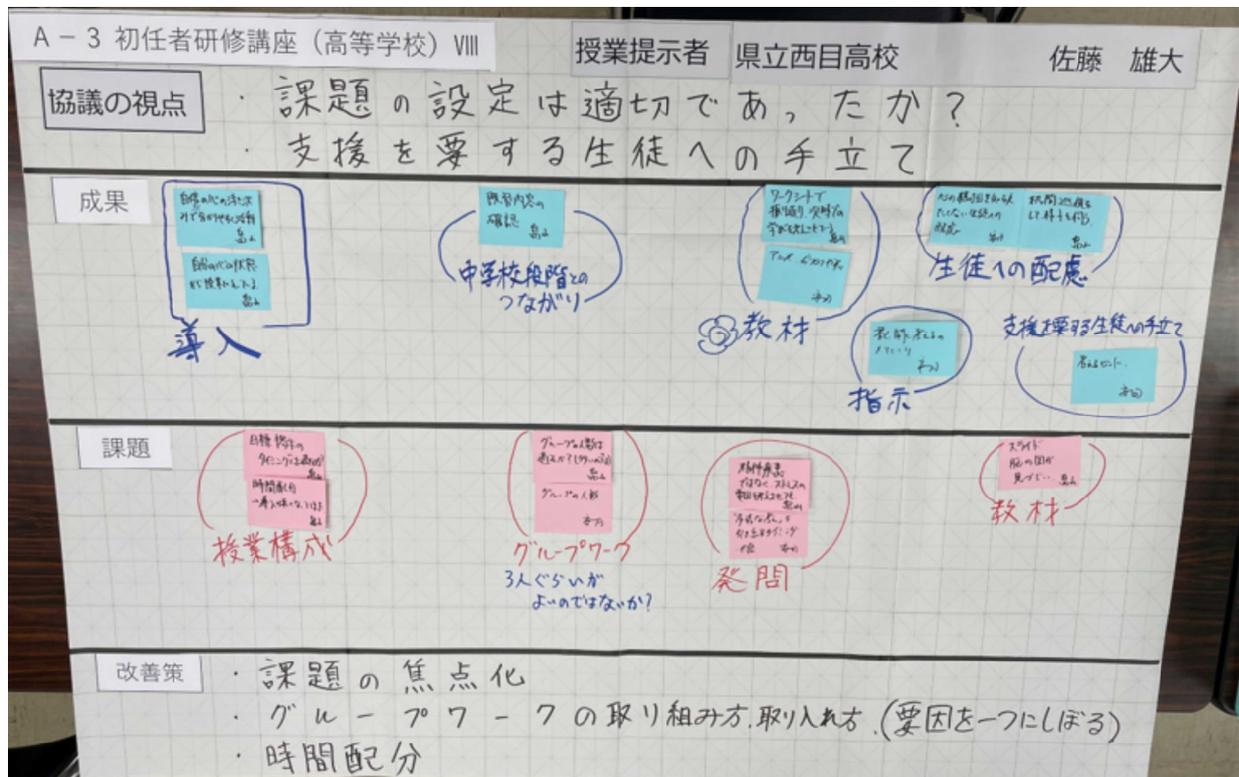
観点別評価 A 知識 B 思考力、判断力、表現力等 C 主体的に学習に取り組む態度

令和5年度校内研究授業(10月)研究協議会 報告書 (保健体育科)

研究授業実施日	令和5年10月5日(木)5校時	使用教室	1年3組
授業科目名	保健	授業者	
研究協議会実施日	令和5年10月5日(木) 14:30 ~ 16:00		
研究協議会司会者		研究協議会記録者	
研究協議会参加者	(総合教育センター指導主事) 西目高校 保健体育科教員3名		

協議の視点: 「課題の設定は適切であったか」、「支援を要する生徒への手立て」

※令和5年度 A-3 初任者研修講座(高等学校)Ⅷ 「授業実践研修」として実施した。研究協議には本校保健体育科教員に加えて、秋田県総合教育センター 指導主事が参加された。協議は以下の写真のように付箋を用い、ワークショップ形式で成果と課題について各参加者から意見が出された。



<成果>

- 導入部で自身の心の浮き沈みを「見える化」して、精神疾患について意識させることができた。
- ヒントを電子黒板で提示し、思考を促すことができた。
- ワークシートで振り返りや次時での学びについて考えさせることができた。

<課題>

- 授業の進行を円滑にするために、課題の焦点化が必要。
- 生徒がわかりやすいようにパワーポイントのイラストを簡略化するなどの工夫があってもよかった。

その他協議事項

- グループ活動の人数が5~6人だったが、限られた時間で全員が発言したり、意見交換したりするためには人数が多かった。3~4人に設定することで発言や意見交換の回数が増えるのではないかと。
- 授業の導入部分が長くなり、目標の提示のタイミングが遅くなってしまった。生徒が見通しをもって活動するために適切なタイミングで目標を提示するべきである。(時間配分)

期間

5月～12月

希望する授業のカリキュラムに合わせ、授業者と参加者で日程を調整します

6月2日まで 体験希望の教科・系列を調査します（後ほど変更してもかまいません）

各教科ごとに希望の記入用紙を回覧いたします

集計後、希望者の概数を各科の主任に連絡します

ねらい

授業を実際に体験し、各系列について理解を深める

（系列の授業等で）各生徒の授業への取組を確認し、共に体験する

実施内容

全教員が一回以上参加します

（自身の教科内でも、他の教科・系列でも自由）

ノートをとる、プリント記入、小テスト、質問、**実習** 等**生徒同様に授業に参加**してください

- 教員個々が希望する授業に参加する
- 授業者との交渉は授業参加教員が行う
- 参加を希望された教員は、できるだけ受け入れをお願いします
- 特定の授業に希望者が複数いる場合は、日程を合わせるなど調整してください

1時間で内容を進める事が難しいのであれば、複数の時間の参加や、
課題提出 についてなど、授業者と打ち合わせて、任意に行ってください

実施後

（参加者）

- ① 授業参加後 **レポート**（授業内容のまとめ や 展開についての意見・感想など）
を授業者にお渡しください（形式自由）
- ② 授業参加後 **授業内容のメモ**（手書きのノートでも 清書したものでも）
又は **授業内容を記録した写真**
授業者に提出した **レポート** などを 研修部に提出してください

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	3U古典B
授業の内容	源氏物語 小柴垣のもと ・動画から当時の結婚のあり方などの生活風習を踏まえて、光源氏と紫の上の出会いから結婚に至るまでの経緯を理解する。 ・源氏物語クイズに答える ・教科書本文書写
感想	動画の活用により、生徒がイメージしやすくなっている。 生徒にとって教える分量がちょうどよく、生徒への配慮が行き届いている。楽しく授業が受けられる良い雰囲気だった。 授業を受けてみて、いろいろ反省しました。 自分の授業においても内容を厳選しつつ、楽しさや作業をもっと取り入れて次も受けたいと感じる授業を目指します。
授業者への コメント	お疲れ様でした。緊張しつつもストレスを感じない授業で、とても楽しく授業を受けることができました。生徒の気持ちになった時間配分でとても参考になります。 自分は教える内容が多すぎたと反省させられました。 最後の本文の写し書きは、意外に楽しいものでした。このような作業も取り入れてみたいと思っています。 ありがとうございました。

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	農業実習
授業の内容	<ul style="list-style-type: none">○草刈り機を使用した、草刈りの講習と実習 ・草刈り機について 草刈り機の種類と安全性 ・草刈り実習
感想	<p>農業科のある学校ならではの、授業であった。実習を行う前に、特に安全性について丁寧に説明があった。体育授業でもそうだが、授業者の安全管理が改めて重要であるということを感じさせられた。また、実習の際は言葉での説明も必要であるが、教師が模範演示をすることの重要性を感じることができた。</p> <p>授業参加型の研修の機会気付いたことを自身の授業にも生かしていきたい。</p>
授業者への コメント	<p>お忙しいところ丁寧にご指導頂きありがとうございました。自宅でも実践できる授業内容にして頂きありがとうございました。</p>

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	体育
授業の内容	球技大会の練習 (バレーボール、バドミントン、卓球)
感想	生徒・担当教員の間には授業の規律に対する共通認識があり、生徒はルールを守り、互いを尊重しながら授業に参加していた。 生徒の目が届くところに教員が待機しており、安心してそれぞれの競技に取り組んでいた。
授業者への コメント	指示が明確であり、生徒が生き生きと体育に取り組んでいる姿が印象的だった。また、教員間の連携がしっかりと取れていた。

5月25日（木曜日） 工業科 3年実習

コンクリート混ぜ合わせ（コンクリートミキサー使用）

今回の路盤打設 1,2回目		3,4回目		プラ舟（ kg）	ほぼ一杯分
砂利	20kg	砂利	40kg		
砂	15kg	砂	30kg		
セメント	6kg	セメント	12kg		

上記のような比率で混ぜれば コンクリート路盤等の打設には適していると思われる

- ① 砂利 砂 をざっと混ぜ合わせる
- ② 砂利 砂 混合物の中に さらにセメントを加える
混ぜ合わせる
- ③ 水を 投入
分量は 適量？ 砂利、砂、セメント混合物がジャブジャブになるような分量
多すぎると感じるくらい
セメントが固まらないように水を追加していく
- ④ ざっと混ぜ合わされば 準備完了
全体に水が回れば 混合完了という様子

コンクリート打設場所の準備

打設場所の計測に合わせ、型枠を設置する

型枠板（合板）のサイズを合わせ鋸で切断

現物合わせて微調整

型枠板支えは計測と現物合わせてその場で切断、継ぎの板等も準備

地面への固定は杭を用いて

杭は板を押させる方向に叩き込み、次いで地面と直角に埋め込んで行く

杭と型枠板をコーチスクリューで緊結

下地 地盤の準備

必要な深度まで土をさらう

さらった地面を均す

地面をじょうろ等の水で湿らせながら 踏み固め 均す

コンクリートの打設

混ぜ終わったコンクリートを型枠内に流し込む

コンクリートはスムーズに流し込めるくらいの水分量のとりみで混ぜられている
流し込んだコンクリートは、自然に砂利が沈み表面が砂、セメント成分で平らになる
くらいの緩さに、水分が含まれている

流し込んだコンクリートの表面を、鍬で叩くようにならず（空気抜き）

（コンクリートの量によってはバイブレーターの使用）

叩いて均す際に、コンクリートの表面が「タプタプ」するくらいの水分量

空気を抜き、叩きながら均してゆく（コンクリートが固まらないように）

水を張ったバケツを手元に置き、鍬が乾かないようにする

今回のコンクリート量はすべて流し終えるには足りない（作業時間的に）

よって、そのまま固めてしまっても良いくらいである

コンクリート打設が仕上がるくらいまで仕事が進んだ場合には

表面に浮いてきた水を流すように鍬を動かし続ける

コンクリートが乾かないようにシート等で養生したうえで作業を終える

直ぐに乾き始めないように管理することが大切

完成後の水はけを検討する

水の流れを作るように路盤に角度をつける（事前に設計）

排水用の溝を準備することもあり（事前に検討）

生徒の状況

ミキサー内の砂利、砂の混合状況に合わせて合いの手をいれるように、へらで攪拌している

ミキサー内への水の供給をホースで行っている

ミキサー内の砂利、砂、セメントの状況を見極めて適当な量の水を加えている

流し込んだコンクリートの均し作業の仕上がりが平滑

空気抜きを考えた鍬の動きが身についている

など、作業のこつをつかみ、適当な分量、内容の状況判断などできている。

これまでの学習や作業経験が生きている

周りの作業進行に合わせ、次の作業準備にかかる生徒がいる

自分の仕事が終わると次の指示待ちになる生徒がいる

作業者が、現在必要としている道具や材料を判断し補助する、

という気働きまではできていない生徒も見られる。

「だんどり」の大切さを感じた

「授業の中に、作業や、実習をできるだけ取り入れ、仕事に慣れることが必要」

と言う、授業者の声に、大いに頷けた。

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	情報 I
授業の内容	授業5分前にコンピューター室に入ったが、早く来て作業を始めている生徒が数名いた。時間になると何も指示がなくても自分のフォルダを開き作業を開始していた。内容は、PDFのテキストを見ながらパワーポイントでプレゼンテーションを作成するというものだった。イラストの挿入やエクセルと連携したグラフの作成など苦手な生徒が多そうな作業もあったが、自由席ということもあってわからないことは気軽に近くの生徒や巡回している米澤先生に聞くことができる環境であり、わからないまま長時間悩んでる生徒が発生しにくいスタイルだった。途中で集中力が切れてきた生徒3名が騒がしくなるシーンがあったが、すぐに駆けつけ注意を行い、注意の仕方もツツコミに近く周りの生徒の笑いを誘うようなやわらかいものだった。
感想	授業開始直後に私は、この生徒数を相手に一人で対応するのは大変なのではないかと感じた。しかし実際は、前述した生徒同士の教えあいや米澤先生の広い視野と的確なアドバイスで生徒たちは難なく作業を続けていた。米澤先生は必ず床に膝をつき生徒と同じ目線になって話し、指示を出す際も言葉だけでなく画面を指さし視覚的にも伝わるようにアドバイスしていた。私も同じ1年4組の授業を持っているが、生徒が教え合える雰囲気と一人一人へのきめ細やかな指導について特に見習って、生徒が自ら学びに迎えるような授業づくりをしたいと感じた。
授業者への コメント	生徒がどんどん次のことをやろう！と自ら動く姿がとても新鮮で大変学びと刺激になりました。今回は授業見学させていただき、ありがとうございました。

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	農業系列
授業の内容	草刈り機の安全な使い方
感想	<p>普段中々扱うことのない機械を使っでの実習を体験しました。 自分の家の周辺の雑草や、公園の雑草が伸び放題だと早く刈ってくれと思う 気持ちが強くなりますが、草刈りの大変さを身をもって体感しました。(けがを しないようにとか、けがをさせないようにとか、きれいに刈るとか・・・) 今回は短い時間での体験でしたが、いつかそれなりの区画をやってみたいで す。</p>
授業者への コメント	<p>おつかれさまです。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました！ いつかあの機械を使いこなしたいです。密かに農業に興味があるので他の内 容にも触れてみたいです！</p>

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	美術(素描)
授業の内容	
感想	<ul style="list-style-type: none">・導入の説明を板書で示しながら行っていた。・生徒へ個別に作品について、アドバイスをしていた。・出来上がりの作品の見本があれば、よりイメージをしやすいかもと思った。
授業者への コメント	

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	1年2組 化学基礎
授業の内容	物質について molを経由した質量や体積の求め方
感想	ICTと黒板の板書をバランスよく活用しながら、生徒に主体的に考えさせる素晴らしい授業だったと思う。自分自身が不慣れだったり、教科の特性として合わなかったりすることが多いため、なかなか授業でICTを活用する機会がない。この授業にはその悩みを解消するためのヒントが多々あったので、今回学んだことを今後に生かしていきたい。
授業者への コメント	スライドを使いながらも、重要な部分は板書でまとめるなど、生徒を飽きさせないための工夫が随所にあった。非常に参考になった。

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した教科名	家庭科(フードデザイン2年)
授業の内容	調理実習 献立(アジのムニエル、マセドアンサラダ) ○ アジを三枚おろしたところまで ○ サラダの材料を切って、茹でたところまで * 2時間続きの授業のうち、最初の1時間を見学
感想	<ul style="list-style-type: none">・生徒同士で身だしなみチェックをし、お互いに嫌だなと思う人はいないことを確認しながら進めていて、よい方法であると感じた。・お互いのために！と伝えながら、マスクの着用を促していることもよいと感じた。・手や使用する器具を洗ってから開始するということが定着していた。・計量するための作業台があって、便利だと感じた。・指示をよく聞いてから、調理を開始していたり、調理途中での指示もよく聞いていた。また、ゴミも、生ゴミとそれ以外を分別していたりして 感心した。・大筋の手順に沿って、教師が声を掛け、作業を促しているのも参考になった(お湯を沸かしているか、手の空いている人への指示など)。・アジを三枚おろしする手本を2回行って、手本を見せながらすすめることは大事だと感じた。材料が半端に余るときには、是非取り入れたいと思う。材料が余らないときでも、手本を示した方がよい場合は、手本用に材料を購入することも検討したい。・「いたずりって何だっけ」「さいの目切りって何だっけ」とやり方を聞きながら丁寧に作業している姿にも感心した。・じゃがいもや人参の皮むきなど、基本的な所に不安を感じる場面もあり生活経験の個人差を実感した。
授業者へのコメント	<ul style="list-style-type: none">・調理実習の進め方を初めて見学し、目からウロコのことばかりだった。・授業の関係で後半の1時間は見ることができず、非常に残念でした。また、是非見学させてください。・1年生の調理実習を行う前に見学することができて、何より良かったし、是非参考にして実習を進めたいと思います。

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	農業機械
授業の内容	バッテリー式とエンジン式の刈り払い機の違い
感想	他教科の先生方との共同授業(実習)安全性を確保しながら 普段とは逆の立場で見方での授業の参加で多方面に渡り参考になることが できた。
授業者への コメント	

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	1-4 化学基礎
授業の内容	11/22 質量パーセント濃度・モル濃度 ワークの例題演習 問題文を読み取り数値を公式にあてはめる。 あてはめたり公式を計算していったりする過程を、指名された生徒が発表する。
感想	<ul style="list-style-type: none">・生徒と会話しながら式を作っていくようすが、論理的で理解しやすい。・生徒の理解度(指名された生徒であったりクラス全体だったり)に合わせて、公式の文字を使ったり実際の数字を入れたりを、自在に行き来していた。生徒理解がある授業だと感じた。・指名された以外の生徒にも理解度を挙手でチェックしていた。おおむね全員がちゃんと反応していて、信頼関係が見えた。・起立解答と全体に聞こえる声という、基本が徹底されていた。自分の授業ではおざなりになっていたのでは、改めたい。
授業者への コメント	生徒理解と信頼関係の見える授業でした。自分の授業を見直す機会になりました。ありがとうございました。

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	土木基礎基礎力学
授業の内容	土のせん断強さ 土が外力を受けると、土中にせん断応力が発生する。土中のある面におけるせん断応力がせん断抵抗を超えると、すべりが生じ、すべり破壊が起こる。このすべり破壊をせん断破壊といい、その破壊する面をすべり面、せん断応力に抵抗できる最大のせん断抵抗をせん断強さという。
感想	百年に一度の自然災害が、毎年のように地球上、日本でも発生している。その現象をわかりやすくして生徒に説明し理解させようという姿勢が感じられた。 粘着力等難しい専門用語もよく調べており、授業研究に時間を費やして様子が感じられた。
授業者への コメント	専門的な用語もわかりやすく解説していた。3年生は、専門職に就職する生徒が多いためこの知識を現場で実践して生かして欲しいということを伝えた。

R5 授業体験参加レポート

※ 記入手順

画面上部の「無題のドキュメント」欄に氏名と参加された教科名を記入してから
内容を記載ねがいます 記入後 [提出] ボタンをクリックしてください

参加した 教科名	農業 総合実習
授業の内容	
感想	実際に草刈り機を使用できました。 手順や禁止事項がなぜだめなのかを理解することができました。
授業者への コメント	機材を扱う時間がもう少し欲しかった。

授業改善重点事項に関するアンケート結果

1. 実施期間 第1回 8月29日(火)頃
第2回 10月3日(火)頃
2. 実施方法 各学年部のクラスルームに載せたアンケート(3問)に答える。
3. アンケート項目 各10点満点で評価する
 - ①学習課題や学習の流れがきちんと明示されている。
板書が工夫されており、ICT機器が積極的に活用されている。
 - ②一問一答形式だけでなく、根拠を基に説明したり、
因果関係を明らかにしながら説明する場面がある。
 - ③起立して回答している。

2回目

学年	回答数	在籍数	UD	根拠	起立
1年	12	105	8.58	8.25	8.50
2年	14	124	8.00	8.07	7.21
3年	58	102	8.02	7.91	7.03
全体	84	331	8.10	7.99	7.27

1回目

学年	回答数	在籍数	UD	根拠	起立
1年	90	105	8.09	7.88	8.61
2年	94	124	7.84	7.68	6.91
3年	67	102	8.09	8.04	6.63
全体	251	331	8.00	7.85	7.45

①学習課題や学習の流れがきちんと明示されている。

板書が工夫されており、ICT機器が積極的に活用されている。

2回目

UD	1年	2年	3年	全体
10点	 6	 4	 20	 30
9点	0	0	 5	 5
8点	 3	 5	 13	 21
7点	 2	 3	 6	 11
6点	0	 1	 6	 7
5点	 1	 1	 7	 9
4点	0	0	0	0
3点	0	0	 1	 1
2点	0	0	0	0
1点	0	0	0	0
回答数	12	14	58	84
平均	8.58	8.00	8.02	8.10

1回目

UD	1年	2年	3年	全体
10点	 27	 29	 22	 78
9点	 13	 8	 7	 28
8点	 22	 19	 15	 56
7点	 10	 12	 10	 32
6点	 9	 13	 5	 27
5点	 6	 10	 7	 23
4点	 2	 2	 1	 5
3点	 1	 1	0	 2
2点	0	0	0	0
1点	0	0	0	0
回答数	90	94	67	251
平均	8.09	7.84	8.09	8.00

②一問一答形式だけでなく、根拠を基に説明したり、
因果関係を明らかにしながら説明する場面がある。

2回目

根拠	1年	2年	3年	全体
10点	5	4	19	28
9点	1	2	8	11
8点	2	3	7	12
7点	2	3	8	13
6点	0	0	6	6
5点	2	2	9	13
4点	0	0	1	1
3点	0	0	0	0
2点	0	0	0	0
1点	0	0	0	0
回答数	12	14	58	84
平均	8.25	8.07	7.91	7.99

1回目

根拠	1年	2年	3年	全体
10点	22	26	20	68
9点	14	7	7	28
8点	20	20	16	56
7点	13	15	12	40
6点	8	12	4	24
5点	12	10	8	30
4点	1	2	0	3
3点	0	0	0	0
2点	0	2	0	2
1点	0	0	0	0
回答数	90	94	67	251
平均	7.88	7.68	8.04	7.85

③起立して回答している。

2回目

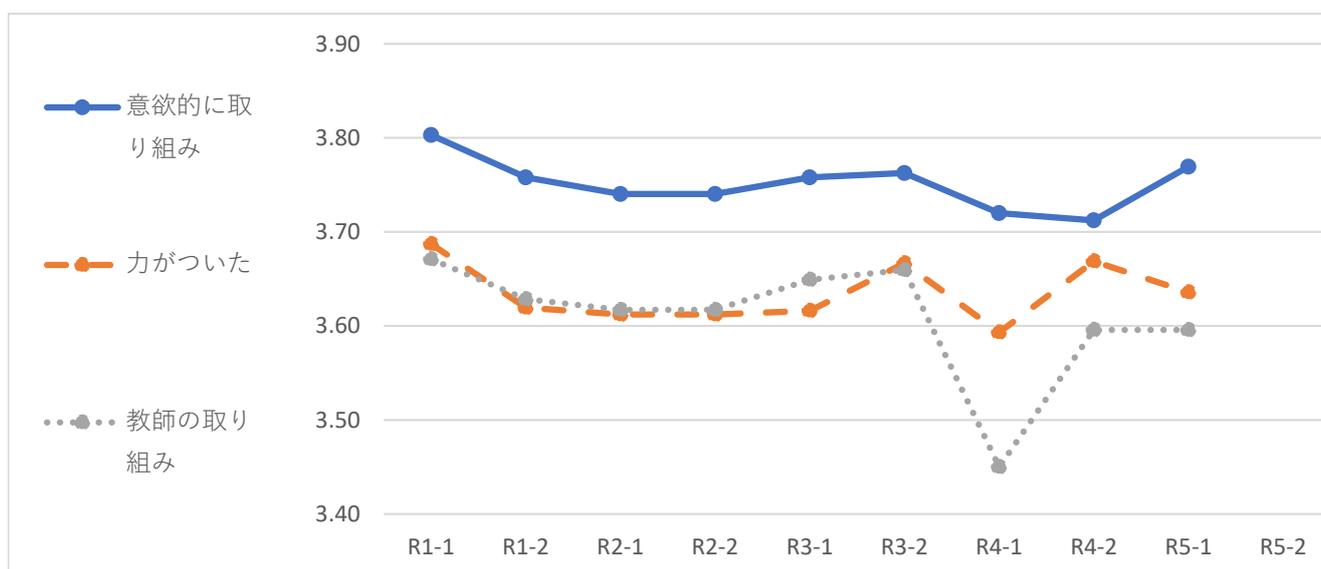
起立	1年	2年	3年	全体
10点	7	2	15	24
9点	0	2	8	10
8点	2	2	3	7
7点	1	3	6	10
6点	0	2	8	10
5点	1	2	9	12
4点	1	1	4	6
3点	0	0	3	3
2点	0	0	0	0
1点	0	0	2	2
回答数	12	14	58	84
平均	8.50	7.21	7.03	7.27

1回目

起立	1年	2年	3年	全体
10点	41	24	16	81
9点	12	8	7	27
8点	17	15	7	39
7点	7	7	2	16
6点	7	9	8	24
5点	6	16	12	34
4点	0	2	6	8
3点	0	5	4	9
2点	0	4	2	6
1点	0	4	3	7
回答数	90	94	67	251
平均	8.61	6.91	6.63	7.45

令和5年度 授業アンケート 集計結果

	R1-1	R1-2	R2-1	R2-2	R3-1	R3-2	R4-1	R4-2	R5-1	R5-2
1 意欲的に取り組み	3.80	3.76	3.74	3.74	3.76	3.76	3.72	3.71	3.77	
2 力がついた	3.69	3.62	3.61	3.61	3.62	3.67	3.59	3.67	3.64	
生徒の取り組み	3.75	3.69	3.68	3.68	3.69	3.71	3.66	3.69	3.70	
3 興味・関心	3.71	3.64	3.60	3.60	3.69	3.73	3.57	3.63	3.60	
4 “ねらい”	3.72	3.69	3.66	3.66	3.75	3.77	3.55	3.69	3.70	
5 発声・板書・説明	3.71	3.68	3.64	3.64	3.72	3.79	3.60	3.63	3.66	
6 理解を深める	3.67	3.64	3.68	3.68	3.71	3.69	3.44	3.61	3.60	
7 考えをまとめる	3.50	3.45	3.43	3.43	3.52	3.47	3.12	3.47	3.48	
8 発表や説明、質問	3.57	3.53	3.53	3.53	3.54	3.52	3.24	3.46	3.47	
9 規律のある授業	3.76	3.70	3.71	3.71	3.51	3.53	3.49	3.60	3.59	
10 丁寧に説明	3.73	3.69	3.68	3.68	3.75	3.77	3.59	3.68	3.67	
教師の取り組み	3.67	3.63	3.62	3.62	3.65	3.66	3.45	3.60	3.60	



分析データ

生徒自身は、意欲的に取り組んでいると思っている。（4点中3.8）

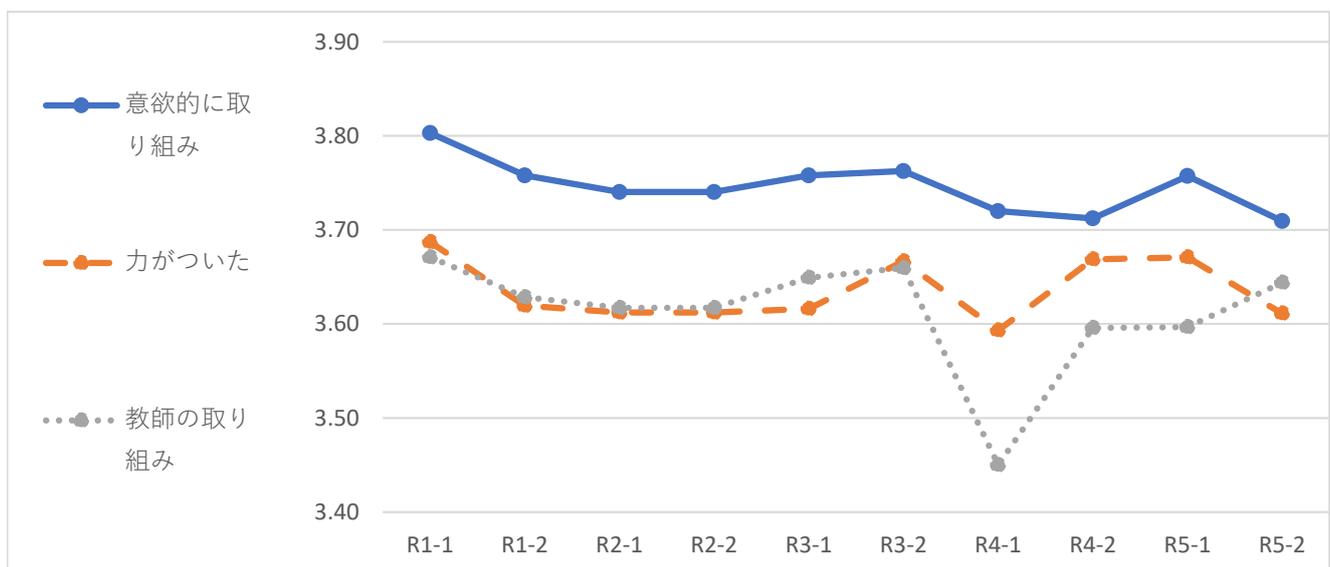
それに対し、力がついていると感じている割合が若干減っている。

教師の取り組みに対する評価と力がついたと感じている感覚に相関がみられる。

（令和3年までで相関係数0.88、令和4年以降で相関係数0.90）

令和5年度 授業アンケート 集計結果

	R1-1	R1-2	R2-1	R2-2	R3-1	R3-2	R4-1	R4-2	R5-1	R5-2
1 意欲的に取り組み	3.80	3.76	3.74	3.74	3.76	3.76	3.72	3.71	3.76	3.71
2 力がついた	3.69	3.62	3.61	3.61	3.62	3.67	3.59	3.67	3.67	3.61
生徒の取り組み	3.75	3.69	3.68	3.68	3.69	3.71	3.66	3.69	3.71	3.66
3 興味・関心	3.71	3.64	3.60	3.60	3.69	3.73	3.57	3.63	3.60	3.67
4 “ねらい”	3.72	3.69	3.66	3.66	3.75	3.77	3.55	3.69	3.66	3.76
5 発声・板書・説明	3.71	3.68	3.64	3.64	3.72	3.79	3.60	3.63	3.63	3.72
6 理解を深める	3.67	3.64	3.68	3.68	3.71	3.69	3.44	3.61	3.63	3.66
7 考えをまとめる	3.50	3.45	3.43	3.43	3.52	3.47	3.12	3.47	3.49	3.51
8 発表や説明、質問	3.57	3.53	3.53	3.53	3.54	3.52	3.24	3.46	3.50	3.53
9 規律のある授業	3.76	3.70	3.71	3.71	3.51	3.53	3.49	3.60	3.60	3.60
10 丁寧に説明	3.73	3.69	3.68	3.68	3.75	3.77	3.59	3.68	3.65	3.70
教師の取り組み	3.67	3.63	3.62	3.62	3.65	3.66	3.45	3.60	3.60	3.64



分析データ

生徒自身は、意欲的に取り組んでいると思っている。（4点中3.7）
それに対し、力がついていると感じている割合が若干減っている。

教師の取り組みに対する評価は、やや上がっている。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

国語

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
佐藤幸二	12現代の国語、2C2古典探究	67	59
中川潤子	31現代文B、32現代文B、34現代文B	63	56
齋藤達博	3v現代文B、3u現代文B	13	11
	計	143	126

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	3.8
2	3.7
3	3.6
4	3.8
5	3.8
6	3.7
7	3.7
8	3.7
9	3.7
10	3.8
計	3.7

- ・わかりやすい授業をこれからも続けてください
- ・寝ないで頑張る！
- ・読む力がさらについた。
- ・わかりやすい
- ・とてもわかりやすい授業です
- ・教室変えてください暑い
- ・昔の人の文章は難しいしわからないことが多いからついていけてなくて悲しいです。
- ・テストは前回と同じにしてほしい。ワークから小テスト。教科書から考査。
(漢字語句の小テストと読解中心の考査に分けるとのこと。)

授業評価の結果から見てきた課題と改善方法について

- ・1年「現代の国語」では、評論文を扱っているため説明が多くなる傾向にある。身近な事象に掘り下げた話題を提示して生徒相互の課題発見や課題解決に導く授業展開を開発していきたい。
- ・2年「古典探究」(教養)は、興味・関心に重点を置くが古典嫌いが根強く残っている感がある。全訳完成を目標とするのではなく、教材をきっかけとして人間の生き方・あり方に触れていきたい。
- ・国語らしくオープンクエスチョンを多めに出して、グループやクラスで答えを作っていくようにしている。その結果、どうしても「うるさく」なってしまうし、規律も乱れがちな時間帯がある。個人で考え答える質問の時と、グループで考えて答えを出す時の答え方をはっきり変え、メリハリをつける。
- ・3年生ということもあり、どうしても講義型の授業が多くなってしまっている。なかなか自分の考えをまとめたり、表現したりする場面を作れずにいるので、今後は意識的にそういう場面を作っていきたい。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

数学

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
佐々木充宏	11数学 I, 12数学 I, 13数学 I, 14数学 I	105	93
濱田正登	2c数学 II, 2ae数学総合演習	32	28
佐藤朋紀	2uv数学 II・B, 2(34)数学 A	40	38
堀内大介	32, (134) 数学総合演習, 2B2数学総合基礎, 2(12) 数学A	86	79
	計	263	238

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	3.61
2	3.49
3	3.44
4	3.59
5	3.60
6	3.57
7	3.20
8	3.48
9	3.57
10	3.61
計	3.52

- ・ 考査問題の難易度をもっと易くしてほしい。
- ・ 最初のプリントの時間を延長してほしい。
- ・ 復習することで解く力がみについてると実感できる。
- ・ 自分の気持ち次第で学力をあげることができる授業でとてもやる気になる。当てられたときはちゃんと答えられるか緊張する。
- ・ とてもわかり易いです。

授業評価の結果から見てきた課題と改善方法について

8の「授業の中に、発表や説明、質問する機会がある。」について機会を設けているが、一人の生徒と教員との閉じた状態となってしまう、他の生徒に広がらない部分があると感じている。一問一答のような形ではなく、他の生徒も質問された生徒と同じように考えさせるにはどうしたらよいか検討したい。

7の「授業の中に、文章などで自分の考えをまとめる時間がある。」の評価が低い。演習と内容の指導でいっばいで、「文章などで自分の考えをまとめさせる時間」を確保する余裕はない。授業内容を家庭で復習することを強く指導しているので、授業の中にこのような時間を作る必要性はあまり感じないが、できるだけ考えていく。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

数学

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
佐々木充宏	11数学 I, 12数 I, 13数 I, 14数 I	103	86
濱田正登	3c数学 II, 3ae数学総合演習	32	27
佐藤朋紀	2uv数学 II・B, 2(34)数学 A	40	40
堀内大介	32数総演, (134)数総演, 2B2数総基, 2(12)数学A	86	79
	計	261	232

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	3.62
2	3.47
3	3.49
4	3.68
5	3.62
6	3.65
7	3.23
8	3.53
9	3.68
10	3.64
計	3.56

テスト範囲をクラスルームに載せてほしい
 指示棒で黒板をあまり強く叩かないでほしい
 苦手な図形が少し得意になった気がします。
 先生の授業のおかげで実力が付き苦手だった数学が少し得意になりました
 覚えやすい授業内容

授業評価の結果から見えてきた課題と改善方法について

1回目と8回の「授業の中に、発表や説明、質問する機会がある。」について問題を感じていた。2回目までに取り組んだことは生徒数が少ないことを活かして生徒一人一人の理解状況を把握することを行った。発表や質問を全員の前ですることには難しさがあったので、生徒個々に対応することが本校の生徒にとってはプラスになるのではと考えた。アンケート結果に大きな変化はなかったが、本校の生徒の状況に応じた取り組みであると感じた。

自由記述「指示棒で黒板をあまり強く叩かないでほしい」は、注目させるためにあえてやっていることではあるが、やめるように心がけたい。「4」については、毎時間、目標を明示している。「8」については、発表や説明、質問する機会をほぼ毎時間与えている。「5」については、プロジェクターと板書を併用し、必要な記述や注意すべき点など、かなり配慮している。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

地理歴史・公民

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
平野剛	2b1歴史総合	10	10
平野剛	2C世界史探究	13	13
藤田賢哉	12歴史総合	27	20
佐藤陸斗	2e公共	13	12
佐藤陸斗	2k2公共	34	33
		計	97
			88

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	3.8
2	3.5
3	3.6
4	3.8
5	3.6
6	3.4
7	3.2
8	3.3
9	3.5
10	3.6
計	3.5

わかりやすい
すみません公共は苦手です
これからも頑張りたい
木曜日の授業科目色々終わってるけど公共だけ楽しいです
めっちゃ授業がわかりやすい
席替えしたいです
ちょ～楽しいからこのままでお願いします
小テストみたいな問題を普段から解きたいです
超楽しいです！！
このままのクオリティの授業を期待しています！

授業評価の結果から見てきた課題と改善方法について

7. 授業の中に、文章などで自分の考えをまとめる時間がある。
8. 授業の中に、発表や説明、質問する機会がある。
の数値が低めになっている。授業の要点を項目分けしたドキュメントファイルを各自に配布し、まとめて提出してもらった課題を出している。初期には授業中に作業をする時間を取っていたこともあるが、進度が確保できなくなるため課題として考査前までに提出させている。小分けにすると授業時間の最後にやることもできそうであるが、課題の数が余りに多くなると管理できなくなる上にテスト前に各自で確認するのも難しいため現在の形になっている。授業の中では困難であるがある程度内容に定着には役立っていると思われる。

授業者が多く話してしまう場面が多く、生徒にこたえさせていないと反省している。

授業の狙いがはっきりしているという評価が一番高くうれしく思う。

内容を厳選して、深く掘り下げてやったほうが生徒に受け入れられると思うものの、たくさんの内容をやりたい自分の欲望に負けていると思う。

- ・生徒の自由発言や発表の機会はあったが文章にまとめる機会が少なかった。
- ・google formやgoogle documentをクラスルームで課題として配布するなどし、改善を試みる。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)2回目

教科名

地理歴史・公民

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
藤田賢哉	1-2歴史総合	26	20
藤田賢哉	2v日本史探究	7	7
佐藤陸斗	2e公共	13	13
佐藤陸斗	2k2公共	34	33
平野剛	2b1歴史総合	10	10
平野剛	2c世界史探究	13	13
	計	103	96

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	2回目	差	質問11 自由記述欄
質問1	3.7	(-0.05)	<p>がんばります！！</p> <p>面白い</p> <p>席替えしたいです！！</p>
2	3.6	(+0.07)	
3	3.7	(+0.13)	
4	3.8	(+0.03)	
5	3.7	(+0.13)	
6	3.6	(+0.17)	
7	3.5	(+0.28)	
8	3.6	(+0.27)	
9	3.5	(+0.02)	
10	3.7	(+0.15)	
計	3.6	(+0.10)	

授業評価の結果から見てきた課題と改善方法について(1回目との変化の観点も加えて)

- ・文章にまとめる機会を増やしたが、彼らの知識量と理解力で書き上げられるだけの丁寧な説明ができなかった。
 - ・生徒どうして話し合い、生徒間で理解した生徒からまだ追いつけない生徒への教え合いの時間を設けたい。
7. 授業の中に、文章などで自分の考えをまとめる時間がある。
8. 授業の中に、発表や説明、質問する機会がある。
- の数値が低めになっている。授業の要点を項目分けしたドキュメントファイルを各自に配布し、まとめて提出してもらって課題を出している。初期には授業中に作業をする時間を取っていたこともあるが、進度が確保できなくなるため課題として考査前までに提出させている。小分けにすると授業時間の最後にやることもできそうであるが、課題の数が余りに多くなると管理できなくなる上にテスト前に各自で確認するのも難しいため現在の形になっている。授業の中では困難であるがある程度内容に定着には役立っていると思われる。
- ・質問1「授業に意欲的に取り組んでいる」の数値が下がっている。過去においては意欲的に取り組む生徒が多かったが生徒の観察をしっかり行い、対応しなければならない。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

理科

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
渡會 諭	生物基礎	21	21
渡辺 拓人	化学基礎	27	26
木元 将史	物理基礎	7	5
	計	55	52

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	3.6
2	3.3
3	3.4
4	3.6
5	3.5
6	3.3
7	3.0
8	2.9
9	3.2
10	3.5
計	3.4

- ・ 前日の睡眠が大切だと学んでいます
- ・ これからも頑張りたいです
- ・ わかりやすいです
- ・ 前日の睡眠が大切だと学んでいます
- ・ いつもありがとうございます。とても先生の話のお陰で楽しく授業をうけることができます。
- ・ 図などを使って説明してくれていてわかりやすいことが多いです

授業評価の結果から見えてきた課題と改善方法について

肯定的な意見が多かったが、実験等を通し、生徒が主体的に学習に臨める環境をつくる工夫が必要である。教材の整理、見せ方、ICTを用いた効果的な調べ学習の取り入れ等、改善が必要である。

自由記述では出てきていないが、生徒の発表の場を設け、動きのある授業展開を求められていると感じる。授業を聞くだけでなく、問題演習やグループワーク等、自ら率先して学習に取り組む手立てと、それに伴う教材提示を行っていく。

各単元に実験を取り入れ、操作に慣れる回数も不足している。内容の精選を行い、実施する実験室の環境整備等も併せて行っていきたい。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)2回目

教科名 理科

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
渡會 諭	生物基礎	21	21
渡辺 拓人	化学基礎	27	26
木元 将史	物理基礎	7	5
	計	55	52

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	2回目	差	質問11 自由記述欄
質問1	3.5	(-0.09)	黒板が見やすい
2	3.4	(+0.05)	平常点の上げ方が分からない
3	3.4	(+0.04)	わかりやすい
4	3.6	(-0.04)	
5	3.5	(+0.01)	
6	3.5	(+0.22)	
7	3.3	(+0.31)	
8	3.2	(+0.31)	
9	3.4	(+0.24)	
10	3.6	(+0.05)	
計	3.4	(+0.07)	

授業評価の結果から見えてきた課題と改善方法について(1回目との変化の観点も加えて)

前回と比べ、平均は変わらなかったが、各項目でわずかながら上昇したポイントが多かった。教科の特性上、用語の周知は必須であるため、その段階で挫けてしまう生徒が多く見受けられる。プリントとクラスルーム等によるデータ配布の両輪で基礎固めをする必要がある。

ICT機器はそれぞれの担当が積極的に取り入れ、生徒から一定の評価は受けていると感じる。次年度に向けブラッシュアップを図っていきたい。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

英語

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
亀谷	英語コミュニケーション I (11), (12)	54	48
伊藤	英語コミュニケーション II (uv), (2k1), (2k2)	84	80
	計	138	128

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	3.73
2	3.62
3	3.81
4	3.79
5	3.88
6	3.8
7	3.64
8	3.77
9	3.71
10	3.82
計	3.76

小テストむずい
 わかりやすい
 入学当初と比べて、英語力が上がった。
 まあまあ分かる
 英単テストが楽しい
 英語難しいけど同じくらい楽しいです。小テストで初めて満点を取れて嬉しかったので、夏休み中も意欲的に取り組んでテストに備えたいと思います。
 とても楽しい授業です
 英語たのしい
 分かりやすいです。
 ジョシュ先生の授業も少し増やしてほしい
 授業たのしい♡
 英コミ楽しいっす。

授業評価の結果から見てきた課題と改善方法について

質問項目2「この授業を通して、教科の力がついて成長したと実感している」の平均数値が低くなっている。単語テストや小テストは適宜実施しているが、この2つのテストは自分の理解度や知識の確認を促すようなものであり、自らの成長は感じにくいのではないかと考えられる。表現活動などで英語を運用し、それを適切に評価していくパフォーマンステストの充実など、生徒自身が「できた」と思える機会を増やすことが必要である。

また、質問項目7「授業の中に、文章などで自分の考えをまとめる時間がある」の平均数値も低くなっている。英語で意見を述べたり、考えをまとめるなどの活動は難易度が高く、なかなか取り入れられていないのが現状である。まずは日本語で書いてから徐々に英語にシフトしていけるように、教材などを準備していきたい。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

保健体育 (体育)

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
安田	31, 32, 33, 34体育	102	71
畠山	2uv, 2k1体育	53	47
佐藤	11, 12, 13, 14体育	102	85
	計	257	203

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	2回目
質問1	3.9
2	3.8
3	3.8
4	3.9
5	3.8
6	3.7
7	3.7
8	3.4
9	3.7
10	3.7
計	3.7

差

- ・ダンスがとても楽しかった
- ・体育めっちゃ楽しいです！
- ・球技を増やしてほしい
- ・今後使う知識が沢山学べて、授業が楽しいです。
- ・鬼ごっこかかくれんぼをしてみたい
- ・毎回楽しい

授業評価の結果から見えてきた課題と改善方法について(1回目との変化の観点も加えて)

アンケートから主体的に楽しく、体育の授業を行っているようである。今後も単元の精選やワークシートの工夫、使用方法について科内全体で改善に努めていきたい。
(1回目のアンケートを実施できずに申し訳ありませんでした。)

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

家庭

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
佐々木幸	家庭基礎 (1年2組)	27	25
佐々木幸	家庭基礎 (1年3組)	25	24
小園直子	子どもの発達と保育	26	23
小園直子	保育基礎	26	26
小園直子	フードデザイン (2年)	25	22
	計	129	120

アンケートの集計結果

	平均
質問1	3.81
2	3.74
3	3.72
4	3.78
5	3.73
6	3.67
7	3.63
8	3.48
9	3.64
10	3.72
計	3.69

質問11 自由記述欄

・分かりやすい。
 ・教科書などを使って分かりやすく教えてくれたからスムーズに授業できた。
 ・楽しい授業です。
 ・普段の生活などに役立つような内容でとてもためになる授業だなと思う。
 ・生活に役立つことを学習できた。
 ・説明とても分かりやすくて助かります。授業も楽しくていいです。グループ活動とか、被服室とかもっと行きたいです。

【子どもの発達と保育】
 楽しい

【保育基礎】
 折り紙をやりたいです
 小さい子ども用のお菓子を作ってみたいです
 折り紙難しかったからもっと練習したい
 楽しい授業です！！
 保育園に行って実習したい
 縫い物はやりたくないけど料理は色々したい
 保育園や幼稚園にたくさん行きたいです！
 幼稚園の子達と遊具で遊びたい
 なにか作るのしたい。楽しい。
 こども園に手作りのおもちゃを作って持って行きたい
 子どものためになにかおもちゃを作りたい
 授業楽しくていいです！あと、困ったらたくさん助けてくれたり、こえかけてくれていいです

【フードデザイン (2年生)】
 ラーメンを作りたい
 調理実習が楽しかったです。もっと調理実習がしたいです。
 いっぱいたべたい
 大学芋作りたい
 もっといっぱい作りたいのと主菜系も作りたい！
 甘い物系を作りたい。おかず系を作って食べるとき一緒にご飯も食べたい
 調理実習を通して学ぶ事が多くて将来に役たって良かった
 今度スイーツ系も調理実習で作りたいです！

授業評価の結果から見えてきた課題と改善方法について

1年生の授業「家庭基礎」について、3. 5を下回ったのは、次の2項目である。

- ① 3の「この科目に対する興味・関心を高める工夫された授業である」
教師主導の話による授業が中心となってしまう、もっと視覚化する工夫(実物や動画の提示)をしていくことや生徒同士の関わりを意識した授業展開を取り入れていくことをして改善を図りたいと考える。
- ② 9の「授業中の私語・居眠りなどについて指導され、規律のある授業である」
授業中の私語は見られないので、居眠りがあるのだと考える。気がついた時には、言葉を掛け注意をしているが、教師の話が長くなってしまった時に短時間でできる、パッと目が覚める活動を取り入れてみようと思う。

2～3年生の専門科目について、3. 5を下回ったのは1項目ある。

- ③ 8. の「授業の中に、発表や説明、質問する機会がある。」
クラスルーム等を活用し、資料や実習内容を提示しているが質問をしやすい発問を工夫していきたい。

授業や実習については、予算の中で生徒の声を取り入れながら、さらに改善していきたい。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)2回目

教科名

家庭

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
佐々木幸	12家庭基礎、13家庭基礎	51	48
小園直子	子どもの発達と保育	26	20
小園直子	保育基礎	26	12
小園直子	フードデザイン(2年)	25	18
	計	128	98

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	2回目	差	
質問1	3.65	(-0.16)	【家庭基礎】 ・楽しい授業で分かりやすいです。 ・分かりやすい授業で助かっています。 ・このまま継続。 ・とても楽しいです。 ・分かりやすい。 ・プリントを使った方が分かりやすく学べると思った。 ・いつも分かりやすい授業をありがとうございます。
2	3.64	(-0.10)	
3	3.65	(-0.07)	
4	3.68	(-0.10)	
5	3.72	(-0.01)	
6	3.59	(-0.08)	
7	3.5	(-0.13)	
8	3.48	(±0)	
9	3.56	(-0.08)	
10	3.65	(-0.07)	
計	3.61	(-0.08)	【子どもの発達と保育】 ・楽しい 【フードデザイン(2年生)】 ・調理実習たのしいです。 ・食事を作るのが楽しかったので、また作りたいです。 ・いろんな食べ物を作り料理の技術が上がったと感じた。 ・とても楽しいです。もっといろんなものを作りたいです。 ・もっと調理実習をしたい。

授業評価の結果から見てきた課題と改善方法について(1回目との変化の観点も加えて)

- 1年生の授業「家庭基礎」について、前回と比較し以下のように分析した。
- 10項目中8項目が低下しており、課題を感じる。特に、低下の幅が大きかった項目が1.「意欲的」と7.「まとめる」であったことから、まとめ方に工夫を取り入れ意欲を促すことにつなげていきたいと感じた。自分で考えた出題問題を互いに交換して実施するという振り返りを3年生の授業では実施していたが、1年生の授業でも取り入れてみようと思う。
 - プリント学習に変更した点については、記述で「プリントを使った方が分かりやすく学べると思った」という記載があり、否定的な意見はなかった。また、今回上昇した2項目が3.「工夫」、5.「分かりやすい」という点は、プリント学習がこの評価につながったものと考えており、継続して取り組もう考えている。
- 2～3年生の専門科目について、前回と比較すると大きな増減はなかった。
- 第1回のアンケートで課題だった10項目の中の8.「発表、質問」について、生徒同士で考え等を発表しあったりする場面を増やす等取り組んだ。若干ではあるが数値が上がった。
 - 2年生は修学旅行等の行事が多く、実習の時間が思うようにとれなかった。この点に関して、生徒の自由記述にも記載があり年間を通した計画の重要性を改めて感じた。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

芸術

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
伊藤直哉	美術Ⅱ	11	11
伊藤直哉	デザイン基礎	22	22
三浦千恵	書道Ⅰ(3,4)	11	11
三浦千恵	生活の書	13	13
小山華子	音楽Ⅱ	13	11
小山華子	音楽Ⅰ	18	16
小山華子	ソルフェージュ	5	4
	計	93	88

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	3.9
2	3.9
3	3.9
4	3.9
5	3.9
6	3.9
7	3.9
8	3.8
9	3.8
10	3.9
計	3.9

これからも楽しくやっていきたいです
美術選んで良かったです
筆ペンを使って絵を描いてみたいです。
好きな歌詞や漫画などのセリフを書いてみたい。
押し花楽しいです
楽器を使ったりしてたまに難しいこともあるけど負けずに
頑張っていこうと思いました。
いつも先生たくさん褒めてくれるし、助けてくれるし、
頑張れってたくさんしてくれるから授業楽しいし、頑張ってる。
いつも先生ありがとう。悩みとかあると聞くよーってして
くれて嬉しいし、助けられています。
人生いろいろあって大変だけど、はきたいときははいて
泣きたいときは泣いて生きていきたいです

授業評価の結果から見えてきた課題と改善方法について

制作を楽しんでいる様子が見えてくる。

今後も生徒の要望や反応を見ながら、課題内容や進め方を調整しつつ授業を展開したい。

生徒の日常的な文化や趣味も取り入れ、これからも興味関心の高まる内容を取り入れて展開したい。

教科内容はもちろん、感性に訴える授業だけに、様々な話題や生徒の感情に関わる指導も大切にして進める必要があると思われる。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)2回目

教科名

芸術

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
小山華子	音楽Ⅱ	13	10
小山華子	アンサンブル演習	9	8
小山華子	ソルフェージュ	5	4
三浦千恵	書道Ⅰ(34)	14	11
三浦千恵	生活の書	18	18
伊藤直哉	美術Ⅱ	11	11
伊藤直哉	デザイン基礎	22	21
	計	92	83

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

質問	2回目	差	自由記述欄
質問1	3.9	(±0)	すごく楽しい授業です(美術)
2	3.8	(-0.10)	これからもがんばりたいです(美術)
3	3.8	(-0.10)	いつも楽しいです(音楽)
4	3.9	(±0)	がんばります(音楽)
5	3.9	(±0)	これからも元気いっぱいです(音楽)
6	3.8	(-0.10)	とても楽しい授業をありがとうございます!!(書道Ⅰ)
7	3.8	(-0.10)	めっちゃ楽しい、来年も楽しみ(書道Ⅰ)
8	3.7	(-0.20)	
9	3.7	(-0.10)	
10	3.6	(-0.20)	
10	3.8	(-0.10)	
計	3.8	(-0.10)	

授業評価の結果から見てきた課題と改善方法について(1回目との変化の観点も加えて)

- ・他の授業も含めて、技能が向上することや、完成した作品の満足度から自己評価が上がっており、充実感を味わっているように感じられる。様々な課題に取り組ませることで知見を広め、発想力の向上に期待する。
- ・実技科目のため後片付けが間に合わず、その場で作業をしたまま終わりの挨拶を済ませてしまうことがある。
- ・指名するなどして作品や振り返りの発表をさせている。
- ・生徒は制作や創作の時はとても楽しそうだが、手本を見て書く時は集中力に欠ける者もいる。声かけに工夫が必要。
- ・生徒の今後の人生で、少しでも生活に彩りが出るような知識や技術を身につけさせたい。

令和5年度 授業評価の分析・報告(教科まとめ)

教科名

農業

授業評価を実施した科目(講座)

教科担任	科目名(講座名)	在籍	回答数
宮腰明	作物	2	2
宮腰明	農業機械	2	2
今藤暁子	畜産	2	2
今藤暁子	野菜	2	2
	計	8	8

アンケートの集計結果

質問11 自由記述欄

	平均
質問1	4.0
2	3.8
3	3.8
4	3.9
5	3.9
6	3.8
7	3.9
8	3.8
9	3.9
10	3.9
計	38.375

作物：授業では、具体的な図や説明を、実習では授業で学んだことを実際に出来てバランスが良かった（農業機械の分野に入ることも出来て幅が広がった）。
バリカンで草を刈ったり、田植えや稲刈りの作業が楽しかった。

機械：具体的に機械を触ったり、操縦する機会があり授業とも適度にあり、頭に入りやすい。田植機やコンバインの作業が楽しかった。折林ファームの最新のコンバインを操縦できていい体験になったと思う。

畜産：実習がどうしても多くなってしまいが、授業では、鶏や豚についての知識が深く付いた。テレビなどで聞いたことがあるような病気の他に、鶏の特徴を知る授業が楽しかった。

野菜：どうしても実習が多くなってしまいが、そのおかげで、具体的な作業は他校より多く出来ていると思う。サツマイモ掘りが一番楽しい。

授業評価の結果から見えてきた課題と改善方法について

教員も生徒も忙しい年であったため、実習が多く生徒も大変だった。
3年生は実習や販売実習のなかで、積極的に仕事を見つける事ができるようになった。
職員定数が6に対して職員4人では、授業運営が厳しい。6人付けて欲しい。
生徒達の反応から、もう少し授業に重点を置き基礎力の向上を図る必要があると感じた。
総合学科高校として、農場規模の再編と学校現場の実態に応じたカリキュラムの工夫などが必要と感じる。

